

Charleston Conference 参加報告

電気通信大学 上野 友稔
お茶の水女子大学 香川 朋子

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
これからの学術情報システム構築検討委員会
電子リソースデータ共有作業部会

1. 出張概要、目的、成果
2. C. C. 2015の参加報告
3. GOKb and ERDB-JP Meeting
4. 関係者との情報交換

1. 出張概要、目的、成果

3

1. 1 出張概要

1. 2 目的

1. 3 成果

1. 4 今後の展望

- 出張者：上野友稔（電気通信大学）
香川朋子（お茶の水女子大学）
- Charleston Conference : Francis Marion Hotel(Charleston, South Carolina, U.S.)
- 2015年11月4日（水）～7日（土）

1. 1 出張概要

5

11月4日 (水) Deep Dive into KBART (セッション)

11月5日 (木) GOKbミーティング、ExLibrisミーティング、
ProQuestミーティング

11月6日 (金) Future(s) of GOKb (セッション)、NIMS (ポスター発表)

11月7日 (土) Data Mining at Scale(s)、Acquisitions
Everywhere (セッション)

- Deep Dive into KBARTワークショップに参加し、KBARTに関する知識を深めERDB-JPへのフィードバックを行う。
- GOKbとのミーティングでNII(ERDB-JP)プレゼンを行い、国際連携の可能性を議論する。
- 最新のサービス及びそれらに対する評価に接し、日本の学術情報流通に参考となる情報を収集する。

- KBART形式でのデータ作成のノウハウを学び、KBが電子リソースの流通の中心にあることを改めて学んだ。
- GOKbからERDB-JPのテストデータの提供を依頼された。正式なデータ連携に向け、条件面の調整を検討したい。
- ProQuest社からコンソーシアム版リソースマネージャのトライアルの提案を受けた。ERDB-JPの商用ベンダーへの流通やJUSTICE参加館の業務負担軽減を目的として、活用ができるのではないか。

- GOKbとの連携：ERDB-JPのテストデータを提供し、データ連携の準備を行う。平行して公式なデータ連携に必要な書類等の条件を調整する。
- コンソ版RMトライアル：ERDB-JPの商用KBへの流通の可能性について検討するとともに、JUSTICE参加館の業務負担を目的として機能検証を行う。

2. 1 C.C. 2015 概要

2. 2 Deep Dive into KBART

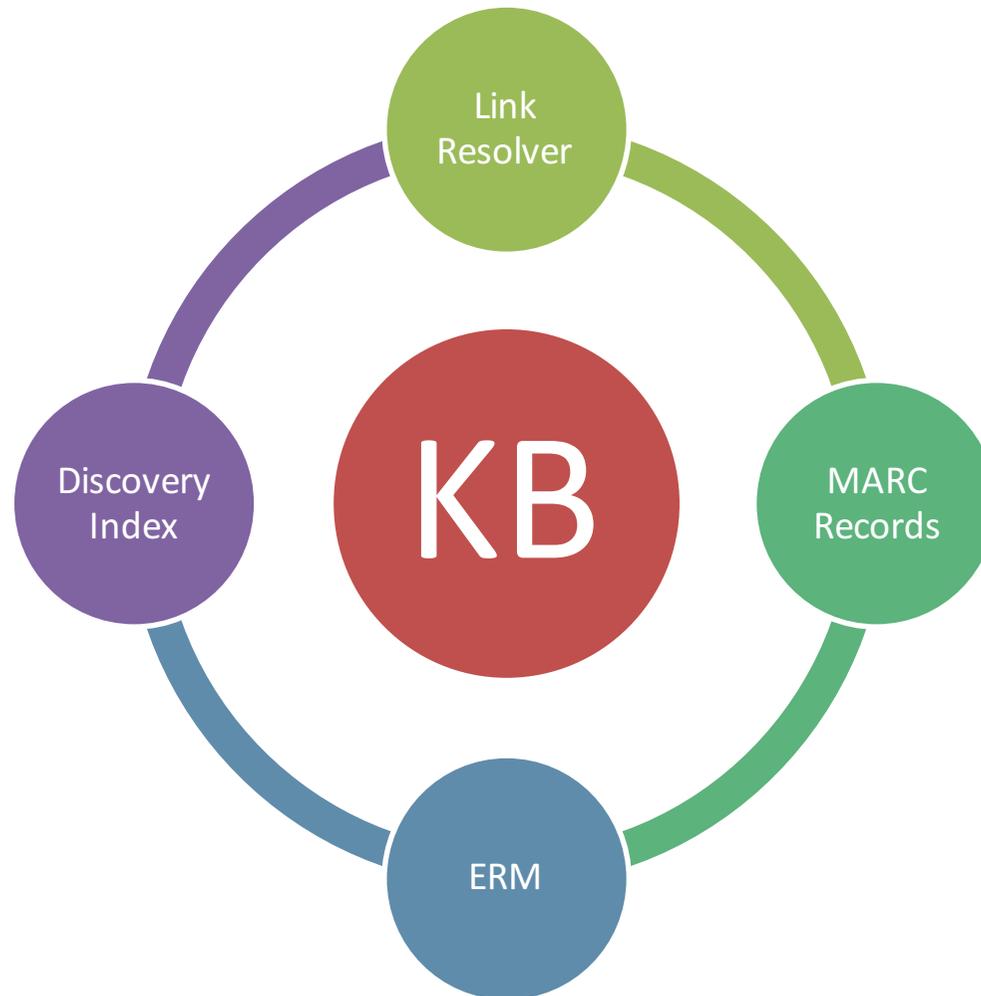
2. 3 Future(s) of GOKb

- 会議名：Charleston Conference-Issues in book and serial acquisition
- 会議の内容：出版社、ベンダー、図書館員が一同に会して学術情報流通に関して具体的なサービス・取り組みについてディスカッションする会議
- 2015年のプログラム：<http://bit.ly/1l8R2iu>
- 開催頻度：1980年以来年1回開催（2015年は35回目）
- 2014年の参加者数：1,600人

- セッションの概要：KBART形式でのデータ作成を、スピーカーによる概要説明とワークショップ形式の実習を通して学ぶ。
- メインスピーカー：Ben Johnson (PQ)
- 参加者の所属機関：NISO、EBSCO、IEEE、Gale、MIT、Gale、Chicago、Oxford、お茶大、電通大

- KBは、リンクリゾルバ・ディスカバリ・MARCLレコード・ERMに関係する、電子リソース流通の中核である。
- 正確なリンクデータの相互利用性が重要である。
- ベンダにとってKBARTを使うメリットは、ユーザの発見を支える質の高いメタデータである。

The kb is the center of our universe.



- GOKbはKBベンダーの役割を果たす。
- ERDB-JPのデータをGOKbに流通させることで、日本語のナショナルKBの流通を促進できる。
- GOKbは商用KBベンダーとのデータ連携も模索しており、進展によってはERDB-JPのデータを商用KBにも流通できる可能性がある。

- KBARTは、シリアル・モノグラフに対応し、その適応範囲は拡張される。
- シリアル：ジャーナル、ニューズペーパー、マガジン、ニュースレター
- モノグラフ：図書、博士論文、法律著作、レポート、ファクトシート、手稿、等「無限に続く」

- KBART作成のポイント
- パッケージ名はユーザが利用（選択）しやすい名称を付与すること。
- 同じeISSNを変遷前後の複数タイトルに付与しない。タイトル変遷時に別々のeISSNが付与される。付与されていない場合はカレントのレコードのみにeISSNを付与する。
- Book seriesは個別タイトルとは別にタイトルを作成する（個別タイトルからBook seriesのタイトルにリンクできるようにしておく）。
- ISBNが複数存在する場合は、プリントのISBNを優先し、その他のISBNは最終列以降にAdditional dataとして追加する。

- ショットガンセッションの一部で、GOKbの紹介と将来構想について述べる
- スピーカー：Kristen (GOKb, NSCU)

- GOKbデータの増加：CUFTS、KB+
(ERDB-JPも視野に入っている)
- パートナーの増加
- 電子書籍データの取扱い
- Open Access
- Linked Data

- 3 . 1 Meeting Agenda
- 3 . 2 Workflow / System
- 3 . 3 Data / TIPP
- 3 . 4 Relationship with KB vendors
- 3 . 5 License data
- 3 . 6 GOKb Linked Data Ontology / ebooks
- 3 . 7 Partnership

- Global e-resources knowledge base
Title: 24,189 (ERDB-JP: 11,322) *
Package: 339 (ERDB-JP: 6 [詳細レベル : 255])
Organizations :2,112
"Template" License: 18
- Community-managed (Partnership)
- Open data (CC0 / Web API / Linked Data)



*GOKbのタイトル数等は2015年8月時点のもの

3. 1 Meeting Agenda

21

日時：2015/11/5（木）13：00～15：00

場所：Kudu（Francis Marion Hotel近くのカフェ）

ミーティングの相手：

Kristen Wilson

GOKb Project Manager,

North Carolina State University

Jennifer Solomon

GOKb Editor,

North Carolina State University



- a. ERDB-JPのプレゼンテーション
 - b. GOKb からERDB-JPへの質問
 - c. GOKbへの質問 / 連携打ち合わせ
- 3. 2 Workflow / System
 - 3. 3 Data / TIPP
 - 3. 4 Relationship with KB vendors
 - 3. 5 License data
 - 3. 6 GOKb Linked Data Ontology / ebooks
 - 3. 7 Partnership

GOKbシステム構成

- OpenRefine with GOKb extension
 - データ処理ツールOpenRefineをGOKb用にカスタマイズしたもの
 - GOKbのWiki上で頒布
 - <https://wiki.kuali.org/display/OLE/Install+the+GOKb+Extension>
- ONIX-PL Editor (OPLE)
 - ライセンス情報の標準形式ONIX for Publications Licenses (ONIX-PL)の編集ツール
 - 標準化推進団体EDiTEURのサイト上で頒布
 - <http://www.editeur.org/22/ople-software/>
- Virtuoso
 - Linked Open Data / RDF用のデータベース（トリプルストア）

データ取り込みフロー

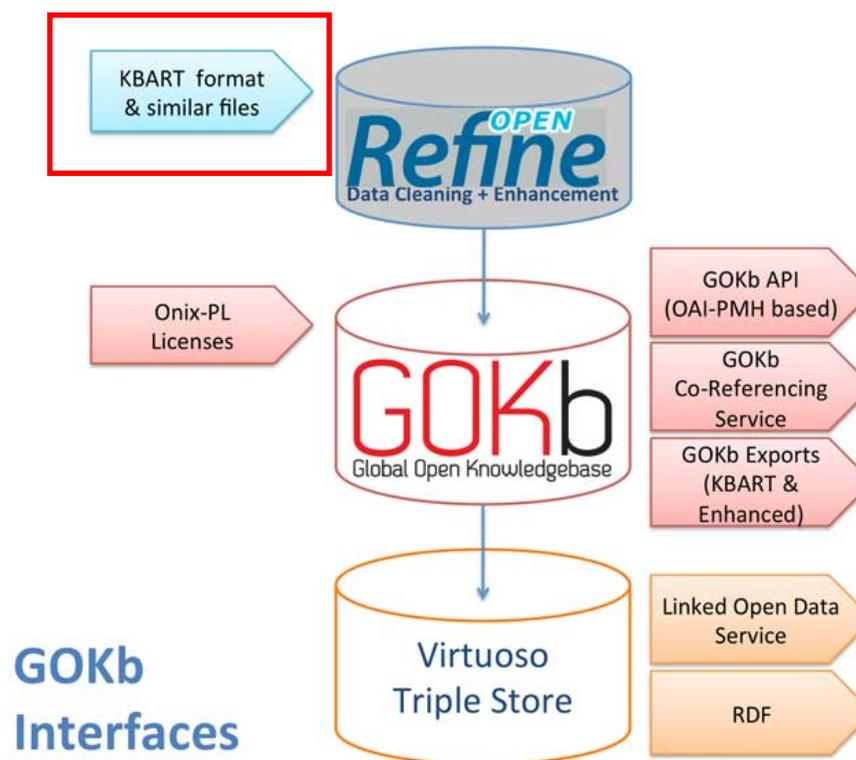
1. 出版社サイト（Web/FTP）から KBART形式のデータを手動でダウンロード

（Editor/Data Management Partner）

2. OpenRefineに取り込む

（初回取り込み時に各出版社用のデータ取り込みルールを生成）

3. GOKbの管理画面でエラーや差分箇所等を確認し、データを修正



The Global Open Knowledgebase (GOKb): open linked data supporting electronic resources management and scholarly communication
<http://insights.uksg.org/article/10.1629/uksg.217/>

- 差分更新/自動更新は未実施
 - 毎回全レコードを上書き
 - カナダのKB連携（計画中）で大量データの処理が必要
→自動更新を検討中
 - OpenRefineによる更新/手動による編集作業の重複回避策は講じていない
 - 手動で修正した場合でも、出版社のレコードに修正があれば最新レコードで全項目が上書きされる
- GOKbの固有ID：TIPP (Title Instance, Package, Platform)
 - 形式：“gokb:TIPP:{TitleID}:{PackageID}”
 - OpenRefine内でTitle, Package, Platform IDの付与/紐付け
 - ISSN/DOI等の標準的な識別子とGOKb TIPPとを名寄せし、GOKb: Coreference Service (Web API) で公開
→活用事例あり (NIMS)

- EBSCO / ProQuest / OCLCと協議中
 - 特にEBSCOとは密に情報交換を実施
 - 他のベンダはGOKbのデータ品質等を確認している段階
 - ExLibrisとの協議は未実施
- GOKbからKBベンダへのデータ提供が開始すれば、ERDB-JPのデータをGOKb経由で流通させることも可能

NISO ONIX-PL Encoding Project (2013-2014)

- The Andrew W. Mellon Foundation / Jiscによる助成
- OPLEを使って18テンプレートを作成
- Creative Commons Public Domain (CC-0) licenseで公開

Projectの結果

- テンプレート作成に多大な労力を要した
 - ONIX-PLが非常に複雑で、ライセンスデータのマッピングに2ヶ月程度を要した
 - 適切なライセンスの語彙が選択できないケースがある
- コミュニティが独自でテンプレートを作成する方法は推奨しない
- 出版社は正確なライセンス情報を提供すべき
- ProQuestのERMシステムにライセンステンプレートの作成・共有機能があるため、それを活用することを推奨する

GOKb Linked Data Ontology

- BIBFRAME / DataCite / Dublin Core / Bibliographic Ontology / FOAF / MODS RDF Ontology / RDF Schema / The Service Ontology / SKOS Simple Knowledge Organization System Namespace / STAC (Security Toolbox: Attack & Countermeasure) ontology
- GOKbの独自語彙を追加

ebooks

- 2016年3月に対応予定
- Serialの語彙 + ebookの利用に最低限必要な要素（印刷可能なページ数等）をRDAの語彙から取り入れ、GOKb Linked Data Ontologyを改定予定

3. 7 Partnership

29

- パートナー機関数：25機関
- 連携予定
 - CUFTS Open Knowledgebase : カナダ
 - Zeitschriftendatenbank (ZDB) : ドイツ
 - BACON : フランス
- 連携検討中
 - Kungliga biblioteket (National Library of Sweden): スウェーデン
 - China Academic Library and Information System (CALIS): 中国

Kuali OLE partners: 13
(GOKb Partnersとの重複あり)

GOKb Partners



<http://gokb.org/partners>

- パートナーシップ締結による
ベネフィット
 - 国内コンテンツがオープンかつグローバルな学術情報流通の潮流に乗る
 - ERDB-JPの国際的認知度の向上
 - 運用 / システム面でのレベルアップ
 - 標準化の推進
 - 最新の国際動向の把握

Emerging ecosystem of complementary services



The Global Open Knowledgebase (GOKb): open, linked data supporting library electronic resources management and scholarly communication
<http://www.slideshare.net/gokb/150331-uksg-antelmanwilson>

- GOKb / ERDB-JP連携テスト
 - 文字コード等に問題がないかの調査
 - OpenRefineデータ取り込みルール作成
 - サンプルデータを元に、定期更新の開始スケジュールを試算
 - 出版社名の“GOKb Organizations”（機関名典拠ファイル）との照合
 - 結果をフィードバックしてもらうことも可能
 - ERDB-JPの拡張項目はKBART定義に基づく拡張のため問題なし
- 連携テストに用いるパッケージ
 - Freely Accessible Japanese Titles (10,000 titles)
 - AFFRIT (1,000 titles)
 - Japanese Single Titles (100 titles)
- 定期更新の頻度はERDB-JPのデータ更新頻度に応じて対応する

- データ提供が成立した時点でGOKbはパートナーと認識
 - 公式なパートナーとしてWebサイトに掲載する場合は、調整が必要
- Gold/Consortial Partnership or Free Partnership
 - Gold Partnership : \$2,500/年
 - Consortial Partnershipの価格は要相談
 - 支払方法は確認中
 - Jisc / Kuali OLE partners
 - Free Partnership : GOKbのデータ品質向上に協力する
 - 作業例 : 出版社のデータを収集/正規化してGOKbに取り込む作業
 - 作業時間例 :
 - NCSUスタッフ : タイトル変遷情報を調査し、毎週複数タイトルをメンテナンス
 - Kristen Wilsonさん (Project Manager) : 週15時間程度
 - Jennifer Solomonさん (Editor) : Full-time
 - 5-6人は2週間に1日程度
 - Jiscは資金+エフォットの両面からサポート

- GOKbとしてはAgreement等の文書の取り交わしは必要ない
 - JiscとはMemorandum（覚書）を締結
 - ドイツの2つのコンソーシアムとはAgreementを締結
 - 特に何も取り交わしていないパートナーも複数あり
- Agreement / Memorandum
 - AgreementはMemorandumよりもフォーマルな文書
 - Agreementの雛型提供を依頼中
 - GOKb専任のJennifer Solomon氏（Editor）がサインすることになる
 - ERDB-JP側のサイン者に指定はない

4. 関係者との情報交換

34

4. 1 ExLibris

4. 2 ProQuest

4. 3 物質・材料研究機構(NIMS)

日時：2015/11/5（木） 15：00～15：30

場所：Francis Marion Hotel

ミーティングの相手：

Christine Stohn (Senior Product Manager, Discovery & Delivery)

内容：

1. ERDB-JPのプレゼンテーション

- KBの質や収録範囲はサービス（ディスカバリ/リゾルバ等）の品質に直結する
- 自社のKBを補完するユニークなコレクション（ERDB-JP）に高い関心を示していた

2. Metadata standard

- KBART / Full MARC format（for eBooks）に対応
- KBはKBART形式による自動更新が可能
 - ISSNをレコードのキーとしているため、自動での差分更新が課題

日時：2015/11/5（木）17：00～18：00

場所：Francis Marion Hotel

ミーティングの相手：

Michelle D'Couto (Lead Product Manager)

内容：

1. ERDB-JPのプレゼンテーション
2. Metadata solution
 - Metadata standard / Linked Data Ontology
3. ERM workflow solution / consortium support
 - 360Resource Manager (360RM) / Intota

Metadata Standard

- 現在はKBART / MARCに対応
- MARCからBIBFRAMEへの移行を検討するよう要望する図書館もある*

Linked Data Ontology

- 様々なontology(例: schema.org) / vocabulariesを検討中*

*Yvette Diven (Product Manager Lead in Data Services, ProQuest)からの情報提供

360RM: 電子リソースに特化した管理システム

- ライセンス情報の管理
コンソーシアム版によるテンプレート継承／共有機能
- 契約情報の管理
共有機能は現在のところなし
→コンソーシアム割引率など会員館共通の契約情報を共有したいという要望を伝える
- アカウント管理...

Intota: 紙資料 / 電子リソースを統合的に管理するシステム

Cloud-based / Workflow solutions / Linked data metadata engine / Demand-driven Acquisition (DDA) for eBook

リンクリゾルバ (360Link) / ディスカバリ (Summon) / 統計管理分析システム (360 Counter) / MARC提供サービス (360 MARC Updates) と連携

ProQuestからの提案：トライアル環境の提供

- 360 Resource Manager Consortium Edition
- ユーザ数：NII / 3～4大学
- 期間：1年

Intotaは多言語化しておらず、アジア地区未導入のため、360RMによるトライアルを提案する
(360RM→Intotaへの完全移行時期は未定)

4. 3 物質・材料研究機構(NIMS)

40

日時：2015/11/6（金） 18:00～18:45

場所：Courtyard Marriott

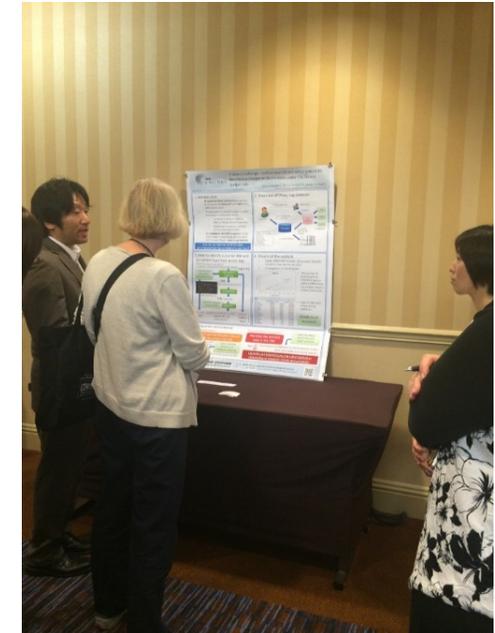
ポスター発表：

A Library Challenge – Managing Institutional Library Subscriptions under the Budget Cuts

発表者：田辺浩介/小野寺千栄, 企画部門 科学情報室

発表資料：

<http://www.slideshare.net/nabeta/a-library-challenge-institutional-library-subscriptions-to-beneficiary-charges-to-library-users-under-the-library-budget-cuts>



利用ログから電子ジャーナルのIDを特定する際、GOKbのWeb API（GOKb: Coreference Service）を活用している取り組みについて、情報交換を行った

- 紙版 / 電子版ISSNの名寄せ情報が網羅的に含まれているGOKbのAPIを活用
- 利用制限がなく（Open API）、仕組みがシンプルで活用しやすい

